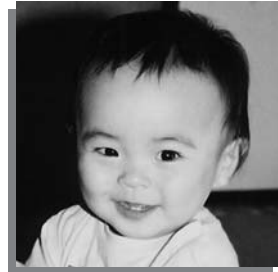


福原 楓花 ちゃん

天草町高浜南
平成18年11月4日生
父・輝久さん 母・美沙子さん
女の子なのにとってもやんちゃです。元気いっぱい育ててネ。



松岡 悠理 ちゃん

久玉町
平成18年11月2日生
父・康二さん 母・理佐さん
しい〜じ、ばあ〜ば、だい好き。これからも、いっぱい遊んでね。



松本 蓮音 くん

牛深町
平成18年11月30日生
父・純一郎さん 母・葉月さん
愛莉姉ちゃん
早く手つないで歩こうね。



山田 樹 くん

今釜町
平成18年11月25日生
父・淳さん 母・さとみさん
いつもニコニコ元気いっぱい♡
みなさん、よろしく。



海老本 羽伽 ちゃん

倉岳町棚底
平成18年11月11日生
父・喜行さん 母・百合さん
お兄ちゃん、お姉ちゃん
これからも仲良くしてね！



岸谷 彩 ちゃん

牛深町
平成18年11月30日生
父・京さん 母・留美さん
お兄ちゃん、お姉ちゃん、
これからもいっぱい遊んでね。

12月で満1歳になるお子さんを募集します！
●応募期限=11月12日⑨まで(必着)。
●応募方法=写真裏にお子さんの住所、氏名(ふりがな)、生年月日、性別、電話番号、コメント(30字以内)、保護者名(父・母)を記入し、〒

863-8631(住所記載不要)天草市役所秘書課へ郵送または持参してください。なお、写真はお子さんが大きく、鮮明に写っているものをお願いします。また、写真の掲載は6人まで(応募者多数の場合は抽選)とし、応募写真は返却しません。



匠 生業の継承者たち

—多角経営を担う若き後継者—

「将来を見据えた宅配業務に挑戦」

永田 誠 さん(五和町御領・25歳)

アイスの製造・販売をはじめ、生肉販売や乳製品などの宅配を行う会社を、父母や姉と4人で経営している。同社は昭和29年に祖父が創業。食料品や生活用品などを販売する雑貨屋としてスタートし、以来52年の歴史を持つ。家業に従事して5年目。現在は、乳製品などの宅配を担当している。天草島内に15の宅配コースがあり、そのうちの1コース、有明町と志柿町の約60軒に週3回、栄養価の高い牛乳やヨーグルトなどを届けるほか、新たな顧客を獲得するため島内を奔走中だ。

「これから先は、高齢者がさらに増え、買い物に行くのが苦痛という人も多くなると思う。このような人たちが自宅にいながらほしい商品を手でできるよう、宅配する商品の種類を増やしたい。健康に良く、安心・安全な商品が求められているので、手始めに無添加で製造者名がわかる「みそや」し「しょう油」など、こだわりの商品もいっしょに宅配したい」と語る。

多角経営を担う若き後継者は、お客さんとの会話を通して消費者ニーズを的確に把握し、将来を見据えた宅配業務に挑戦しようとしている。

みんなの声

あまくさ大花火大会について

先月7日のあまくさ大花火大会が中止になり、とても残念です。花火大会の中止を知らずに出かけられた人もいたようですが、なぜ中止になったのですか。また、今年はどう開催されないのですか。

〔匿名希望〕

【お答えします】

あまくさ大花火大会の中止について、「天草ほんどハイヤ祭り実行委員会」に問い合わせ、次のとおり返事がありました。

今回の花火大会については、大会当日の降水確率が高く、花火の打ち上げ準備に7〜8時間かかるため、その間、雨が降り出すことが予測されたことや、台風15号の進路が九州に向けており、花火打ち上げ時に風速10mを超え、中止命令が出る可能性があったことなどを考慮して、7日と翌8日の大会中止を決定しま

皆さんの声・お便りを お寄せください

■ハガキ・封書・FAXで
〒863-1863 1(住所記載不要) 天草市役所秘書課
FAX 27016
■市長への便り
本庁や各支所、公民館など約80カ所に備えてある便せんに記載し、専用封筒に入れ、ポストへ投かんしてください。
■電子メールで
市ホームページの「意見箱」コーナーから送信。
※ご意見などをお寄せいただくときは、必ず住所、氏名、年齢、性別、電話番号を記入してください。
本庁・秘書課広報係
☎ 1111 内線1208

した。

花火大会中止の情報が十分に伝わらずに、当日出かけた方には大変ご迷惑をおかけしました。お詫び申し上げます。実行委員会では、今回のお知らせの方法などの反省点を踏まえ、今後の大会開催に生かしてまいります。

なお、今年の開催の有無については現在検討中です。決まりしだい市政日より天草などでお知らせします。

〔本庁(別館)・
商工観光課商工振興係〕

地域づくりコーナー

人が動く 地域が動く 天草が動く

「仕切網漁復活で地域おこし」

小宮地区振興会(平田 豊会長)

新和町・小宮地区振興会では8月26日、「仕切網漁」の体験イベントを宮地浦湾で行いました。仕切網漁は、満潮直前の湾口を漁網で仕切り、次の干潮で閉じ込められた魚を捕まえるもので、地域おこしの一つとして、52年ぶりに復活させたものです。早朝5時から、会員らが長さ400m、縦4mの漁網を7m間隔に打ち込んだモウソウ竹の支柱に結び、その後、大漁を祈願して道路沿いに大漁旗を掲げました。

漁には、夏休み最後の休日ということもあって、福岡県や熊本市など市内外から107人の親子連れなどが参加。地元食材を使った田舎料理のバイキングに舌鼓を打った後、潮が引いた海に入り、約

▲約6kgもあるスズキを捕まえた参加者

▼地元食材を使った田舎料理バイキング

